

# 「第11回産業観光まちづくり大賞」

## 金賞を受賞しました



エイベックス(株)の加藤社長と「桑名市産業観光まちづくり協会」名誉会長の市長

市では、さまざまな企業とともに海外からの企業視察を中心とした「産業観光」でのインバウンド事業に取り組んでいます。

製造業をはじめ、飲食、小売、教育、金融、物流など多業種にわたる企業から、経営のノウハウや人材育成の方法などを学びに海外から来た人は、今年度累計で36件、771人となる予定です。視察に合わせ、宿泊、飲食、買い物も一緒に楽しんでいただくことで、900万円以上の消費を見込み、経済活性化につなげています。



市役所での視察風景

この産業観光は、自動車部品メーカーであるエイベックス株式会社が「海外からの工場見学事業」をスタートさせたことが始まりで、平成28

年には産業観光を新たな観光の軸として位置づけました。この産業観光のノウハウをもつエイベックス(株)加藤社長のもと、市と市内の企業、学校法人など9団体が集まり「桑名市産業観光まちづくり協議会」が設立され、海外の企業などに対して幅広い企業見学の機会を提供し続けています。

「産業観光まちづくり大賞」とは、地域振興の新しい手法として注目されている「産業観光」による観光まちづくりを実践し、模範となる事例を(公社)日本観光振興協会・全国産業観光推進協議会が表彰する制度です。



エイベックス(株)の工場視察風景

問 この記事に関するお問い合わせは、商工観光文化課(☎ 24 - 1231 FAX 24 - 1140)へ。